

未来の赤鬼に期待大



第1回

学校説明会行われる

▲2日間で中学生とその保護者約1400人が参加した。

8月21日・22日に本校体育館で第1回学校説明会が開催された。21日には近江八幡・東近江・彦根市内・蒲生・犬上・愛知郡内の中学校の生徒たちが、22日にはそれ以外の中学校の生徒たちがそれぞれ説明会に参加した。また説明会の後には模擬授業や部活動見学などが行われた。

学校説明会の始めには、武田智光教頭先生が本校の教育方針や学校概要について、また進路指導課の西野耕司先生が本校の進路指導についてそれぞれ話された。また生徒会長の松居駿介君(2-5)の挨拶や、本校生徒2名による学校の特徴や東鬼祭の紹介、SSクラスの生徒2名によるスーパーサイエンスハイスクール(SSH)についての説明が行われた。学校紹介では部活動や本校の時間割、東鬼祭

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

についての説明が行われ、東鬼祭の説明では動画が用いられ、中学生を惹きつけた。SSHの紹介ではSSクラスの生徒の選考条件や活動内容、進路実績などが説明された。その後には本校生7名によるパネルディスカッションが行われ、勉強や部活動、東鬼祭などについての本校生徒からの生の声がかされた。体育館内は暑かったが、参加した生徒たちは真剣に本校についての説明を聞いていた。説明会に参加した中学生からは「パネルディスカッションの進行がとてもスムーズですごくいいと思った。笑いを誘うところもあって聞きやすかった」「学校説明を聞いて自分のや



▲社会の模擬授業を受ける中学生たち

説明会が終了した後は、模擬授業や各部活動の見学が行われた。各部活動の部員は工夫をこらした勧誘を行って自分たちの部活をアピールした。模擬授業を受けた中学生たちからは「東高の先生の授業にはついていけないのではないかと思っていたが、話が面白くてわかりやすく、とても楽しかった。入学して実際に授業を受けたと思った」「特に生物の実験が楽しかった。あつという間に時間が過ぎてしまった」などの感想が寄せられた。

りたいことを見つけられそうな学校だと思った。自分も東高に入って文武両道を目指していきたい」などの声がかつた。



▲部活動の勧誘により、中庭付近は大いににぎわった。